

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

## 事業名 離職者雇用事業者奨励金（R4分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 労働雇用課 労働企画係 電話番号：058-272-1111（内 3123）

E-mail：[c11367@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11367@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 63,000千円（現計予算額：0千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	63,000	0	0	0	0	0	0	0	63,000
決定額									

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症の拡大は、県内の雇用情勢に大きな影響を与えており、離職者の再就職をより一層支援するため、感染症の影響により、離職を余儀なくされた方々を正社員として雇用した中小企業事業主を対象とした奨励金の増額等により、早期再就職を促進する。

### （2）事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、就労の場を失った離職者を正社員として雇用した中小企業事業主に対し奨励金を支給する。

### （3）県負担・補助率の考え方

県

### （4）類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	63,000	離職者を正社員として雇用した事業主に対する奨励金
合計	63,000	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

なし

#### (2) 国・他県の状況

滋賀県「滋賀県離職者早期再就職支援事業助成金」

新たに雇用した労働者（県内正規雇用労働者）1人につき60万円

徳島県「安定雇用促進支援事業（正規雇用に向けた助成）」

新たに雇用した労働者（中小企業）1人につき30万円

（大企業）1人につき25万円

長崎県「長崎県離職者雇用促進助成金」

新たに雇用した労働者（無期雇用）1人につき30万円

（有期雇用）1人につき15万円

#### (3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ検討

#### (4) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症による離職者が早期に就職できるように、離職者を雇用する事業主に対する支援が必要であることから、県が主体となって実施すべき事業である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	離職者雇用事業者奨励金
補助事業者（団体）	離職者を正社員として雇用した事業主
補助事業の概要	<p>(目的) 新型コロナウイルス感染症による離職者の再就職を支援する。</p> <p>(内容) 離職者を正社員として雇用した中小企業事業主に対して、1人当たり60万円の奨励金を支給する。 就職氷河期世代で前職が非正規雇用だった場合は、30万円を加算する。</p>
補助率・補助単価等	<p><b>定額</b>・定率・その他（例：人件費相当額）</p> <p>(内容) 1人当たり60万円又は90万円の定額</p> <p>(理由) 離職者の早期再就職を促進するためには、一定の財政支援が必要である。</p>
補助効果	新型コロナウイルス感染症による離職者の影響を軽減させることができる。
終期の設定	<p>終期4年度</p> <p>(理由) 新型コロナウイルス感染症による社会情勢等を踏まえた検討が必要であるため。</p>

(事業目標)

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス感染症による離職者を早期に就職できるようにする</p>
---

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R4)	
正規雇用人数	/	/	90人	90人	90人	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	千円

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標 100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標 50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標 50%未満）</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>
----------------------------

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ検討</p>
---